東京都水道局既設管内配管工事の発注取扱要綱

1 目的

この要綱は、東京都水道局（以下「当局」という。）が発注する水道施設工事のうち、既設管内に新設管を布設する工事（以下「既設管内配管工事」という。）について、発注に係る取扱いを定め、もって当該工事及び競争入札の適正な執行を図ることを目的とする。

2 定義

この要綱において既設管内配管工事とは、次の工法によるものをいう。

- (1) 普通鋼管を用いて既設管内で配管及び接合を行う工法
- (2) 巻込鋼管を用いて既設管内で配管及び接合を行う工法
- (3) ダクタイル鋳鉄管を用いて立坑内で接合し、既設管内に配管を行う工法

3 技術認定

既設管内配管工事については、入札参加に当たり2に定める工法ごとに事前に当局による技術の認定が必要なため、入札参加希望者の申請に基づき随時の認定を行う。

4 発注方法

- (1) 工事発注予定の事前公表事務取扱手続1(2)に基づき、事前に公表を行わず、指名競争入札に参加させようとする者は当局の技術認定を受けた者に限定する。
- (2) 入札参加業者が当局の技術認定を受けた者に限定されることから、受注機会増大のための共同企業体に対する建設工事の発注取扱要綱による共同企業体への発注対象工事から除外する。

5 指名に関する事項

- (1) 既設管内配管の指名競争入札において、当局の技術認定を受けた者を全者指名する。
- (2) 指名するための条件は、次のとおりとする。
 - ア 東京都建設工事等競争入札参加資格審査（以下「資格審査」という。）の業種「水道施設工事」において、発注する工事に該当する等級格付を有すること。
 - イ 発注する工事に対応する2に定める工法について、当局の技術認定を受けていること。

6 技術認定の申請及び審査

3の技術認定は、次により行う。

(1) 申請

技術認定を希望する者から「東京都水道局既設管内配管工事技術認定願（様式1）」の提出を受けるものとする。

(2) 審査機関

(1)の申請についての審査は、別に設置する東京都水道局既設管内配管工事認定業者審査に関する検討会（以下「検討会」という。）で行う。

(3) 審査

ア 検討会では、施工実績、施工技術等について審査を行う。

イ 検討会の審査に当たり必要があると認めるときは、申請者から施工実績に関する工事の関係書類を提出させ、又は申請者からの聞き取り調査若しくは現地調査を行うものとする。

ウ 検討会の審査に必要な事項は、この要綱に定めるものを除くほか、別に定めるものとする。

(4) 認否の決定

申請についての認否の決定は、検討会の審査結果に基づき、経理部長が行う。

(5) 審査結果の通知等

(4)の決定があった場合は、その結果を申請者に通知するとともに、技術認定業者名等を公表する。

7 その他

この要綱の運用について必要な事項は、経理部長が定める。

附 則

1 この要綱は、平成23年8月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

2 施行日前において技術認定をした者については、この要綱の規定に基づき技術認定した者とみなす。

附 則

この要綱は、令和3年9月15日から施行する。

年 月 日

東京都水道局既設管内配管工事
(普通鋼管・巻込鋼管・ダクタイル鋳鉄管) ※技術認定願

東京都水道局長 殿

【申請者】

住 所

会 社 名

代表職氏名

東京都水道局既設管内配管工事認定業者の審査を希望する旨、申請いたします。

以上

※認定を希望する工法について○で囲み、その他を取消線で削除すること。

※認定を希望する工法ごとに本書を1部提出すること。